

公共事業再評価調書

整理番号 H16 - 29

担当部課室名	県土整備部 都市計画課	電話番号	0 1 7 - 7 2 2 - 1 1 1 1
		E - MAIL	toshikei @net.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (10 年)	再評価後 (年)	その他 ()
---------	-----	---------------	------------	---------

1 事業概要

事業種別	下水道事業	事業主体	県 市町村 その他 ()																																								
事業名	鱒ヶ沢町公共下水道事業	地区名等	鱒ヶ沢処理区 市町村名 鱒ヶ沢町																																								
事業方法	国庫補助 町単独	財源・負担区分	国50～55% 県2.5～5.0% 市町村45～47.5%																																								
採択年度	平成7年度 (用地着手 平成7年度 / 工事着手 平成8年度)																																										
終了予定年度	平成32年度 (平成13年12月計画変更 当初計画時 平成22年度)																																										
事業目的	鱒ヶ沢処理区を対象に下水道の整備を行い、「生活環境の改善」、「公共用水域の水質保全」を図る。																																										
主な内容	公共下水道計画 全体計画 (当初計画) 汚水処理区域面積 315ha 事業費 10,387百万円 整備済面積 62ha (現計画) 汚水処理区域面積 329ha 事業費 14,186百万円 整備済面積 62ha 認可計画 (当初計画) 汚水処理区域面積 47ha 事業費 3,974百万円 整備済面積 47ha (現計画) 汚水処理区域面積 79ha 事業費 7,222百万円 整備済面積 62ha																																										
事業費	採択時総事業費 10,387 百万円 (単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>～13年度</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>小計</th> <th>17年度～</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現全体計画</td> <td>4,659</td> <td>483</td> <td>412</td> <td>353</td> <td>5,907</td> <td>8,279</td> <td>14,186</td> </tr> <tr> <td>(現認可計画)</td> <td>(4,659)</td> <td>(483)</td> <td>(412)</td> <td>(353)</td> <td>(5,907)</td> <td>(1,315)</td> <td>(7,222)</td> </tr> <tr> <td>全体計画実績</td> <td>4,663</td> <td>459</td> <td>297</td> <td>178</td> <td>5,597</td> <td>8,589</td> <td>14,186</td> </tr> <tr> <td>(認可計画実績)</td> <td>(4,663)</td> <td>(459)</td> <td>(297)</td> <td>(178)</td> <td>(5,597)</td> <td>(1,625)</td> <td>(7,222)</td> </tr> </tbody> </table>				～13年度	14年度	15年度	16年度	小計	17年度～	合計	現全体計画	4,659	483	412	353	5,907	8,279	14,186	(現認可計画)	(4,659)	(483)	(412)	(353)	(5,907)	(1,315)	(7,222)	全体計画実績	4,663	459	297	178	5,597	8,589	14,186	(認可計画実績)	(4,663)	(459)	(297)	(178)	(5,597)	(1,625)	(7,222)
	～13年度	14年度	15年度	16年度	小計	17年度～	合計																																				
現全体計画	4,659	483	412	353	5,907	8,279	14,186																																				
(現認可計画)	(4,659)	(483)	(412)	(353)	(5,907)	(1,315)	(7,222)																																				
全体計画実績	4,663	459	297	178	5,597	8,589	14,186																																				
(認可計画実績)	(4,663)	(459)	(297)	(178)	(5,597)	(1,625)	(7,222)																																				

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

Ⓐ ・ B ・ C

事業の進捗状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画全体に対する進捗</th> <th>年次計画に対する進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費割合 全体計画</td> <td>39.5 % [/]</td> <td>94.8 % [/]</td> </tr> <tr> <td>(事業費割合 認可計画)</td> <td>(77.5 %) [/]</td> <td>(94.8 %) [/]</td> </tr> <tr> <td>主要工種毎割合 (整備率)</td> <td>処理区域の整備面積割合</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>全体計画 18.8 %</td> <td>- %</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(認可計画)</td> <td>(- %)</td> </tr> </tbody> </table>		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗	事業費割合 全体計画	39.5 % [/]	94.8 % [/]	(事業費割合 認可計画)	(77.5 %) [/]	(94.8 %) [/]	主要工種毎割合 (整備率)	処理区域の整備面積割合			全体計画 18.8 %	- %		(認可計画)	(- %)
	計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗																	
事業費割合 全体計画	39.5 % [/]	94.8 % [/]																	
(事業費割合 認可計画)	(77.5 %) [/]	(94.8 %) [/]																	
主要工種毎割合 (整備率)	処理区域の整備面積割合																		
	全体計画 18.8 %	- %																	
	(認可計画)	(- %)																	
説明	事業費の全体計画に対する進捗率として、平成16年度末予定で、全体計画は39.5%、認可計画は77.5%である。また、処理区域の整備率として、平成16年度末予定で、62haが整備される見込まれており、全体計画区域の329haに対し18.8%の整備率、認可区域の79haに対し78.5%の整備率である。 なお、処理場用地費(149百万円)に係る進捗率は100%である。																		
問題点・解決見込み	順調に進捗しており問題点等は特になし。																		
事業効果発現状況	平成14年4月から鱒ヶ沢浄化センターが一部供用開始となり、平成15年度末現在で市街地を中心に利用され、汚水処理区域が58ha整備され利用されており、行政人口に対する下水道普及率は12.5%である。																		

(2) 社会経済情勢の変化

Ⓐ ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	[全国の評価] 下水道は欠くことのできない都市の基盤整備であり、国家が国民に保障する最低限の生活水準(ナショナル・ミニマム)としての認識が定着している。 [全国下水道普及率:65.2%(H14年度末)]	[県内の評価] 町村の下水道普及率は、都市部に比べ大幅に低く、整備要望が高い。 [県内普及率:44.0%(H14年度末),全国31位,東北3位] [うち市部 普及率:56.4%(H14年度末)] [うち町村部普及率:21.1%(H14年度末)]
	当地区における評価	事業着手時に比べて、地域住民の関心がより一層高まっている。 [鱒ヶ沢町下水道普及率:7.2%(H14年度末)]	
必要性	下水道整備は、計画時も現在においても、地域の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全等のため必要である。また、地域住民の下水道整備の要望は、計画時と比べ現在は高くなっている。		Ⓐ ・ b
適時性	鱒ヶ沢処理区は、平成15年度に策定された青森県汚水処理施設整備構想で単独公共下水道として位置付けられており、その全体目標に向けて事業を推進している。また、下水道事業は、健康で快適な生活を営み、明るく住みよい環境づくりを進めるうえで基本的な事業である。		Ⓐ ・ b
地元の推進体制等	地域住民は、水洗化による生活環境の快適さや中村川、日本海などの公共用水域の水質保全への意識が高まり、事業に協力的である。また、議会においても事業の必要性を理解し、議員の賛成を得て事業を推進している。		Ⓐ ・ b
効率性	-		

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 管渠建設費	百万円	442.5 百万円	百万円
	(2) 処理場建設費	百万円	322.6 百万円	百万円
	(3) 維持管理費	百万円	7.0 百万円	百万円
	(4) 用地費	百万円	6.0 百万円	百万円
	(5)	百万円	百万円	百万円
	総費用	百万円	778.1 百万円	百万円
便益項目 (B)	(1) 生活環境の改善	百万円	155.9 百万円	百万円
	(2) 便所の水洗化	百万円	683.9 百万円	百万円
	(3)	百万円	百万円	百万円
	(4)	百万円	百万円	百万円
	(5)	百万円	百万円	百万円
	総便益	百万円	839.8 百万円	百万円
B / C			1.08	

【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等)

「下水道事業における費用対効果分析マニュアル(案)」(平成10年3月(社)日本下水道協会)の簡易比較法により、年当たりの費用に換算し算定している。

【費用対効果分析における特記事項】

新規計画時には、国の事業採択要件で検討事項でなかったため、費用効果分析は行っていない。

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 管渠工事において、マンホール間隔を50m以上としマンホールの箇所数を削減、道路の舗装復旧の際にAs再生材や再生砕石を使用しコストの縮減等の対応を図っている。	(a) ・ b
代替案	【代替案の検討状況】 当初計画時において、処理場の処理方式は「長時間エアレーション法」、「オキシデーションディッチ法」、「好気性ろ床法」及び「回分式活性汚泥法」の4案を検討した結果、計画規模が小さく、処理場用地が比較的広く確保できる点から、建設・維持管理費が安く、維持管理が容易なものとして、「オキシデーションディッチ法」を採用している。	(a) ・ b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 町の広報誌やチラシ配布などで水洗化についてPRを行い、窓口や電話等による問い合わせが多くなっている。	【住民ニーズ・意見】 議会、事業に係る地権者及び地域住民から事業に対する協力は得られている。また、未整備地域からの整備要望が強くなっている。	(a) ・ b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1) 地域区分 <input type="text" value="TN7c"/> (2) 対応状況 <input type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 <input type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない	(a) ・ b
地域の立地特性	【特記事項】 下水道は、生活環境の改善による町の活性化の上で必要不可欠であるとする。また、処理区域が中村川や日本海に面しており、公共用水域の水質保全のためにも必要である。 鰯ヶ沢町は、過疎地域に指定されている。		

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	地域住民からの要望も非常に強く、事業の継続し事業効果の早期実現を図る。			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見				
評価理由				